

《木材利用システム研究会》

第8回 総会・講演会・研究発表会のお知らせ

東京オリンピック・パラリンピックの開催まであと2年を切り、新国立競技場の木材を活用した屋根工事が急ピッチで進められています。最近、こうした木材が現地で使われている建築物が目につくようになってきましたが、木造設計・施工技術や防耐火技術の向上の成果が現れているものと思われ、今後のさらなる展開が期待されます。

一方、景気拡大の継続の中、若者の数は減少を続けており、労働者の不足が大きな問題となってきています。賃金の上昇は、労働者にとっては大いに歓迎すべきことですが、メーカーにとっては製造コストの上昇に直結し、競争力低下にもつながりかねません。この問題は木材関連業界にとっても大きな課題であり、研究会等で取り上げてまいりたいと考えております。

当研究会では、木材利用の拡大に向けて、さまざまな活動を行っておりますが、この度、下記の要領にて平成30年総会を開催する運びとなりましたので、お知らせいたします。

総会後に行われます研究発表会では、研究助成事業の成果や ESG 研鑽会の概要、さらには応募いただきました会員からの研究発表など、川上から川下まで幅広い分野についてご報告いただきます。また、基調講演会では、林野庁より、「木材利用の拡大に向けて（仮題）」というテーマでご講演頂きます。

木材の加工・流通・利用分野の最新の動向について、ご来場の皆さまとのディスカッションを通じて、産官学の相互理解を深め、様々な協働の可能性を模索できればと願っております。大学や研究機関の専門家に加え、木材の加工・流通・利用分野で幅広く活動されている実務者や行政関係者の方々に是非ともご参加いただきたくお願い申し上げます。

～ 記 ～

□日 時：平成30年9月26日（水）13時00分～18時00分（30分前から受付開始します。）

□会 場： 弥生講堂一条ホール（東京大学農学部キャンパス）

□参加費： 会員：無料（平成30年度の会費をお支払い頂いた会員に限ります）

非会員：5,000円

※ なお、参加費を事前にお支払い戴き、お申し込み戴くことによって、平成30年度の会員登録が可能です。

※ 木材利用システム研究会の会計年度は、9月～翌8月です。

※ 会員登録は、本会ホームページ（<http://www.woodforum.jp/entry.html>）よりお願いいたします。

※ 発表会終了後、情報交換会を予定していますが、この参加費は、別途5,000円を申し受けます。

□申込方法：本会ホームページ（<http://www.woodforum.jp/entry.html>）からお申込ください。

□申込期限：平成30年9月12日（水）

□申込先：木材利用システム研究会事務局（お問合わせはメールにてよろしくお願いいたします。）

〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1, 7号館B棟-438

東京大学アジア生物資源環境研究センター環境材料設計学研究室内

Tel: 03-5841-7506 Fax: 03-5841-0915 Mail: info@woodforum.jp

□振込口座：みずほ銀行 根津支店（235）普通口座：1127263

木材利用システム研究会（モクザイリヨウシステムケンキュウカイ）

※ 情報交換会のお申し込みにつきましては、人数把握&会場準備の都合上、申込期限日までにお知らせ下さい。また、当日のキャンセルはご遠慮いただきますよう、ご協力お願い致します。

～ プログラム ～

《総 会》 13時00分～13時30分（弥生講堂一条ホールにて）

《研究発表会》13時50分～16時40分（ 同上 ）

《基調講演》 16時50分～17時50分（ 同上 ）
「木材利用の拡大に向けて（仮題）」（林野庁）

《情報交換会》18時00分～19時30分（弥生講堂アネックスにて）

～ 研究発表会（13:50～16:40） プログラム ～

| | | | | |
|-----------------|-------------|----------------|-----------|---|
| 1 | 13:50-14:10 | 東原 貴志 | 上越教育大学 | 木材利用に関する知識と意識のアンケート調査結果と経年変化 |
| 2 | 14:10-14:30 | 村田 功二 | 京都大学 | 荒廃農地における国産早生樹林業の可能性 —兵庫県宍粟市での事例の検証— |
| 3 | 14:30-14:50 | 吉田 有紀 渡辺 千尋 | ESG 研鑽会 | 研鑽会「木材産業におけるESG」フェイズⅠの 成果と課題 —木材産業への貢献度をどう評価するか—（仮） |
| 4 | 14:50-15:05 | 多田 忠義 | 農林中金総合研究所 | 最近の住宅着工動向と見通し（仮） |
| 休憩（15:05-15:25） | | | | |
| 5 | 15:25-15:40 | 小林 靖尚 | アルファフォーラム | 30km 圏内の木バイ熱供給が地域経済循環の基本になる |
| 6 | 15:40-15:55 | 濱田 英外 | 防波システム研究所 | 木材利用の津波減災設備市場への拡大 |
| 7 | 15:55-16:10 | 沼田 淳紀 | 飛島建設 | 丸太を使った地盤改良の現状と新しい取り組み |
| 8 | 16:10-16:25 | 北島 麻衣 | タマホーム | 国産材活用の事例と取組みについて |
| 9 | 16:25-16:40 | 西出 直樹 | 住友林業 | 耐火木造の事例紹介と課題（仮） |

※各発表の持ち時間は、1～3までが20分（発表15分+質疑応答5分）、4～9までが15分（発表12分+質疑応答3分）です。